盗聴・盗撮調査

盗聴・盗撮調査は、探偵「株式会社TeR」にお任せください

近年では、インターネットを中心に秋葉原電気街等でも販売されており、誰でも簡単に購入することができるようになったため、盗聴・盗撮被害が増加しています。盗聴器の販売台数は、年間５０万個以上、マニアは３００万人以上存在していると言われています。

盗聴・盗撮被害の例は以下のようなものがあります。

☑企業・店舗等に仕掛けられた産業スパイ事例

☑特定の人物が狙らわれたストーカー事例

☑恋人・元恋人による逆恨み事例・未練からのストーカー事例

☑前の住民が面白半分で仕掛けていった事例

☑公衆トイレ・更衣室等の不特定多数を狙ったマニアによる事例

※盗聴器・盗撮器が仕掛けられていたら

盗聴・盗撮の発見と撤去は同時に行われますが、機器を取り外したからといって問題は本当に解決したとはいえません。

『いったいどういう理由で、誰に仕掛けられたものなのか？』

それを解明する必要があります。

調査検証の結果、考えられる理由として以下のようなものがあります。

☑何者かが侵入して取り付けた

☑前の住民が仕掛けていった

☑恋人・元恋人、近親者の仕業

☑何か機器を仕掛けたものが送られてきた

☑企業や店舗の責任者が従業員の監視の為に取り付けた

☑マニアによる犯行

盗聴・盗撮機器が仕掛けられている可能性は、今の時代珍しいことでもなんでもありません。また、発見・回収したとしても原因を解明しないことには、不安が解消されることはないでしょう。当社では、経験、勘、実際の事例から案件を分析し、今後の対策等のアドバイスも行っております。まずはご相談ください。

調査目的に沿ったプランの提案・対策など柔軟に対応いたします

相談見積り無料24時間対応

問い合わせる　バナー